

広報



となみ野

通誌
第13号
平成26年11月
発行

社会福祉法人手をつなぐとなみ野 〒932-0053 小矢部市石動町9番30号 TEL・FAX (0766) 68-3822
e-mail: tonamino@bz03.plala.or.jp http://www.tonamino.or.jp/



研修旅行



各事業所での研修旅行の様子を一部ご紹介します！

おしゃれ教室

in らぶあけぼの

ボランティアで来て下さる湯原さんにお化粧やハンドマッサージをしていただきリラックスタイムを過ごしました♪



6/20~21

なばなの里・名古屋港水族館・名古屋テレビ塔 など

さわって



11/5

コカ・コーラ工場・源ますのすしミュージアム など



つくって



フレンドハウス福光



10/10

輪島朝市・能登ワイン(株)・のとじま水族館 など

ほっこりして

レポート 研修報告

第11回地域事業所職員研修会

福祉作業所フレンドハウス福光 戸田 裕子



今年も地域事業所研修会に参加させていただいた。午前中の講演はめひの野園の東真盛先生の「障害特性を理解し、よりよい支援」について。東先生のお話はこれまで何度かお聴きしたことがあるが、支援する側がちょっと視点を変えてみることで、想像力を向けてあげることによって自閉症スペクトラムと言われる人たちは地域で継続的に生活できる、とよく言われる。

同じ自閉症だけれど、興味や関心のもち方が一人ひとりみな違うということを理解したうえで、簡潔に明瞭に視覚に訴えるようにポイントをおさえて接することが大切であると学んだ。

午後からのグループワークは、日頃から支援をしていて、こんなときどうしますか？の情報交換や悩み事を話し合った。

- ・家庭との連携について
- ・利用者がパニックをおこした時の対応など

いろいろ意見が出たが、どの事業所も同じような問題を抱えて支援しているのだと感じた。

グループワークの発表のあとの東先生の総評で「自閉症の人は相手の気持ちを思い図ることができないし、上下関係が分からない。そのために好きな異性に執拗につきまったり、職員に暴言を吐くこともある。でも「それは違うよ」としっかり教えてあげることが大切な支援である。また発達障害が陥りやすい畏にはまらないように支援者の側が気を配ってあげることも大切である」と話された。

これからは、いつもありがちな問題行動もこちらの視点を少し変えることで、よくなるかもしれない、減ってくるかもしれない、を頭のどこかに置いて利用者支援に臨みたい。

地域交流

手をつなぐとなみ野では地域の皆様との交流を積極的に行っています。

立野原大収穫祭11.15

エルハート城端



農業に取り組むエルハート城端(立野原分場)では、地元の皆様への感謝と実りの感謝をこめて収穫祭を行いました。ステージでは地域の方より堆肥づくりなどのお話もいただきました。

あけぼの&めるへん夏まつり8.8

小矢部事業所



当日はあいにくのお天気でしたが、地域の皆様にも準備から運営までご協力いただきました。

ピアノロッシ、水車レディースのステージも盛り上がり、笑顔いっぱいの会場となりました。

地域清掃奉仕活動7.25

あけぼの第一



野ぎくの会の皆様や大谷中学校・東部小学校の生徒さん、保護者の方々と一緒に、プランターへの花植えと、クロスランドおやべ周辺の清掃を行いました。

もちもちかんかん11.9

油田



多くの皆様にアルミ缶をお持ちいただき、つきたてのお餅と交換し、あたたかいお餅をほおばり会話も弾みました。

たびかわ納涼祭7.26

メイプル福野



カラオケ大会では、メイプル福野の利用者が得意の歌を披露したり、みんなで一緒に歌ったり、地域の皆様と楽しく思い出に残る一日を過ごしました。

9月13日、富山県・南砺市・社会福祉法人マーシ園が主催する「在宅障害者が学ぶ避難訓練モデル事業」として開催された避難訓練に参加しました。当法人からは、職員2名と利用者5名が参加し、実際に避難所まで歩き、炊き出しなどを体験しました。

避難訓練



